

## 2022年4月における評価方法の変更概要

評価方法を次の通り変更しました。

### <外皮>

1. 土間床等の外周部の線熱貫流率の計算方法を変更しました。当該変更の前後で評価結果が変わる場合があります。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
  - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」
  - 技術情報の任意評定に係る算定方法等「定常二次元計算による土間床等の外周部の基礎の線熱貫流率の算定方法」
2. 鉄筋コンクリート造等の構造熱橋部の線熱貫流率の表を追加しました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
  - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」付録 C「鉄筋コンクリート造等住宅の熱橋形状等に応じた線熱貫流率」
3. 欄間付きドアや袖付きドア等のドアや窓が同一枠内で併設される場合の開口部の日射熱取得率の計算方法を変更しました。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
  - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第三節「熱貫流率及び線熱貫流率」
  - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第四節「日射熱取得率」
4. 日よけの日射遮蔽効果の評価方法を変更しました。当該変更の前後で評価結果が変わる場合があります。当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。
  - 技術情報の第三章「暖冷房負荷と外皮性能」第四節「日射熱取得率」付録A「一般部位及び大部分が不透明材料で構成されている開口部(ドア等)における日よけ効果係数」、付録B「大部分が透明材料で構成されている開口部(窓等)における取得日射熱補正係数」、付録D「日よけ効果係数の算出方法」

<照明設備>

5. 照明設備を設置しない場合に一次エネルギー消費量の算定において想定する平均総合効率を下表の通り、変更しました。

表 照明設備を設置しない場合にエネルギー消費量の算定において想定する平均総合効率

室の種類	変更前(2022年3月以前)	変更後(2022年4月以降)
主たる居室 その他の居室	主たる居室に1か所以上照明設備を設置し、かつそれらの照明設備のいずれかにおいて白熱灯を使用している場合の平均総合効率	主たる居室に1か所以上照明設備を設置し、かつそれらすべての照明設備においてLEDを使用している場合の平均総合効率
非居室	非居室に1か所以上照明設備を設置し、かつそれらすべての照明設備において白熱灯以外を使用している場合(すべての照明設備においてLEDを使用している場合を除く)の平均総合効率	

当該の変更に関して、次の技術資料等を公開しました。

- 技術情報の第六章「照明設備」

以 上

---

※「技術情報」とは、国立研究開発法人 建築研究所が公開する「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)現行版」です。  
「資料」、「Excel ツール」および「WEB アプリ」とは、WEB サイト「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」において公開する入力補助ツール・補足資料です。

## エネルギー消費性能計算プログラム(Ver.3.2.0)における更新の内容

旧バージョン(Ver3.1.0)からの変更点は、次の通りです。

### ●Ver3.1.0→Ver3.2.0(令和4年4月1日)●

#### ○計算方法

##### <照明>

1. 「主たる居室の照明設備」、「その他の居室の照明設備」、「非居室の照明設備」において、「設置しない」を選択した場合に想定される「照明器具の種類」を「すべての機器においてLEDを使用している」に変更しました。

#### ○詳細入力画面

##### <全般>

2. 住宅版、気候風土適応住宅版および特定建築主基準版の入力画面を一つ統合しました。これに伴い、入力画面の基本情報タブに入力項目「プログラムの種類」を追加しました。住宅版、気候風土適応住宅版、特定建築主基準版の選択は、入力画面に移動した後に上記の「プログラムの種類」で選択します。
3. Web インタフェースのレイアウトを一部修正しました。

##### <基本情報>

4. すべての「地域の区分」と「年間の日射地域区分」の組み合わせで計算できるようにしました。

##### <暖房>

5. 「暖房設備機器または放熱器の種類」のうち、「電気ヒーター床暖房」、「ルームエアコンディショナー付温水床暖房機」および「温水床暖房」について、入力項目として「敷設率の入力(入力しない(規定値を用いる)／入力する)」を新たに設けました。これまでは数値入力が必要でしたが、敷設率に規定値(40%)を用いる場合は「入力しない(規定値を用いる)」を選択することで数値入力を省略できます。
6. 「温水暖房機の種類」のうち、「地中熱ヒートポンプ温水暖房機」について、入力項目として「熱交換器タイプの入力(入力しない(規定値を用いる)／入力する)」を新たに設けました。熱交換器タイプに規定値(5)を用いる場合は「入力しない(規定値を用いる)」を選択することで熱交換器タイプの選択を省略できます。

#### <換気>

7. 「換気設備の方式」のうち、「ダクト式第一種換気設備」および「壁付け式第一種換気設備」について、入力項目として「第一種換気設備の有効換気量率の入力(還気が給気に混入することのない場合、もしくは熱交換型換気設備を評価しない、または設置しない場合(規定値を用いる)／上記以外の場合)」を新たに設けました。これまでは数値入力が必要でしたが、第一種換気設備の有効換気量率に規定値(1.0)を用いる場合は「還気が給気に混入することのない場合、もしくは熱交換型換気設備を評価しない、または設置しない場合(規定値を用いる)」を選択することで第一種換気設備の有効換気量率の数値入力を省略できます。

#### <熱交換>

8. 熱交換型換気設備について、入力項目として「温度交換効率の補正係数の入力(入力しない(規定値を用いる)／入力する)」を新たに設けました。これまでは数値入力が必要でしたが、給気と排気の比率による温度交換効率の補正係数に規定値(0.9)を用いる場合は「入力しない(規定値を用いる)」を選択することで温度交換効率の補正係数と排気過多時における住宅外皮経由の漏気による温度交換効率の補正係数の数値入力を省略できます。

#### ○簡易入力画面

##### <全般>

9. 簡易入力画面のヘッダー部に「詳細入力画面に移動する」ボタンを追加しました。
10. 簡易入力画面の文言を一部修正しました。

##### <暖房>

11. 簡易入力画面の暖房タブにおいて、「主たる居室の暖房設備機器または放熱器の種類」および「その他の居室の暖房設備機器または放熱器の種類」の選択肢を修正しました。

以 上

## 住宅・住戸の外皮性能計算プログラム(Ver.3.2.0)における更新の内容

旧バージョン(Ver3.1.1)からの変更点は、次の通りです。

### ●Ver3.1.1→Ver3.2.0(令和4年4月1日)●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

1. レイアウトの調整を行いました。

<住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート>

2. 欄間付きドアや袖付きドア等のドアや窓が同一枠内で併設される場合の開口部の日射熱取得率の計算方法の変更に伴い、「欄間付きドア」シートを削除しました。大部分が透明材料の場合は、面積按分をした日射熱取得率を「⑤窓」シートに、大部分が不透明材料の場合は、面積按分をした熱貫流率を「⑥ドア」シートに直接入力できるよう変更しました。

3. レイアウトの調整を行いました。

以 上

## 共同住宅フロア入力法計算プログラム(Ver.3.2.0)における更新の内容

旧バージョン(Ver3.1.0)からの変更点はありません。

以 上

## 日よけ効果係数算出ツール(Ver.3.2.0)における更新の内容

旧バージョン(Ver3.1.0)からの変更点は、次の通りです。

### ●Ver3.1.0→Ver3.2.0(令和4年4月1日)●

1. 日よけの日射遮蔽効果の評価方法の変更に伴い、下庇の寸法に関する、 $y_{-}$ と $z_{y-}$ の入力が不要になりました。

以 上

## 土間床等の外周部の線熱貫流率の算出プログラム(Ver.3.2.0)における更新の内容

### ●Ver3.2.0(令和4年4月1日)●

1. 土間床等の外周部の線熱貫流率の評価方法の変更に伴い、土間床等の外周部の線熱貫流率の算出プログラム(Ver3.2.0)を公開しました。

以 上

## 共同住宅等の計算結果集計プログラム(Ver.3.2.0)における更新予定の内容

### ●Ver3.2.0(令和4年4月1日)●

1. 共同住宅等の計算結果集計プログラムを公開しました。単位住戸および共用部分についてエネルギー消費性能計算プログラムの計算結果 PDF をアップロードすることで、住棟全体で集計した計算結果を出力できます。

以 上